

# みの〜れで人生のスイッチがON!!



みの〜れデベロップスクール

## 柳井郷平 さん

「みの〜れは仲間と会えて、僕の遊び場所です」と笑う柳井さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

# Minole Life

のすすめ

No.69

若草色のふきのとうを見つけてきました。ふきのとうは早春の山菜で天ぷらやふき味噌で、ほろ苦い味わいが楽しめます。弥生三月の象徴は桜色。ここ四季文化館みの〜れも、もう少しで桜色に染まります。ポカポカと暖かい日はぜひ、遊びに来てくださいな。今回は、小美玉市納場地区にお住いの柳井郷平さん取材します。

## 楽しいから足がみの〜れに向くのかな

柳井さんは市役所内の清掃の仕事に就いて3年目。タオルを頭にきりりと巻き、爽やかな笑顔で働いている柳井さんを見かけた人はたくさんいると思います。人と接するのが好きで、仕事も楽しいと話す柳井さんに、みの〜れに関わるきっかけを聞いてみた。

「僕が清掃をやっているときに、ペットボトルのキャップを大量にいただけませんか?とみの〜れの職員が訪ねてきました。何に使うの?って聞いたら、エコキャップアートという企画をやると言っんです。その時点で少し興味かです。スタッフを探していたようなので気軽に参加したのが始まりです」と気さくな柳井さん。

『エコキャップアート』の次は、みの〜れ10歳記念事業の、『みの〜れムービー制作』のメンバーとして参加するようになりました。メンバーの中には、映像制作関係者やBGM作曲する人がいたり、すごい人たちがいるんだな。

と思いましたが、僕はというと、専門的なスキルはないので、毎回みの〜れに来て、会議やイベントに参加するだけでいい。僕自身は色んなことが体験できて、楽しかったですよ。最初は構えてしまいかもかもしれないけど、僕のような関わり方ができると分かれれば、みの〜れに参加する間口が広がると思います。また、みの〜れ地域リーダー育成『デベロップスクール』にも声をかけてもらい、参加するようにになりました。インターネットテレビを放送したりSNSを使ったイベントだったり、今までの自分と関わりがなかった世界でした。デベロップスクールの会議は月2回くらいですが、楽しんです」と柳井さん。

まだまだ柳井さんの興味は尽きることはない。みの〜れで「演劇集団スリーサイズ」という水戸を中心に活動している演劇集団と出会う、今年の2・3月に、柳井さんはメンバーの一人として初舞台を踏んだ。

「小美玉市の3つの文化センターを、繋いでいく芝居でしたが、芝居をしたことがないので、緊張しましたね。でもたくさん練習を積

んで、なんと本番は乗り切りました。大変というより、みんなやれてやっぱり楽しかったです」と新しいことに挑戦する柳井さんの目は、とても活き活きしていた。柳井さん自身、ボランティアや文化活動は初めてで、みの〜れに関わるようになってから、どんどんと外に出るようになってきたそうだ。「今度は4月にある『さくらフェスティバル』の準備です!20代、30代と若い人たちが計画しています。僕はホワイエ(ロビー)担当で復興支援のイベントを行います。土嚢袋に絵を書いたりしますので、ぜひ来てくださいな!」と楽しそうに話してくれた。

柳井さんにとってみの〜れとは、「おもしろそうなことがあったらやってみようというスタンスなので、みの〜れにくるといっぱいやりたいことがあるんです。逆にいっぱいありすぎて選べないんですが、それがやりがいですよ。ね時間があつたら、遊びに来てくださいな!」

柳井さんのように、みの〜れが若者の遊び場になれば嬉しいかぎりだ。

藤田佐知子